

わたり社協だより

社会福祉法人 巨理町社会福祉協議会

巨理町字旧館60-7 TEL 0223-34-7551 FAX 0223-34-7552 文責 社協広報部会

巨理社協ホームページ URL: <http://www.watarishakyo.or.jp>

「わたり社協だより」の点訳版もあります。ご希望の方は社会福祉協議会へお問合せください。



No.131



キャップハンディ体験



ハンディ・キャップという言葉を入れ替えた造語で「その人の立場に立って考える」ことを目的とした体験学習です。

町内の小・中学校において様々なメニューでキャップハンディ体験を実施しています。

表紙写真は、12月に実施した長瀬小学校での体験学習の様子です。
(関連ページP5)

目次

キャップハンディ体験	1
令和6年度巨理町社会福祉研修会	2
宮城県社会福祉大会	2
巨理町共同募金委員会からのお知らせ	3
サンタがウチにやってくる	3
今この集いの場が熱い	4
ふれあい食事サービス「さざんかの会」	4
介護家族教室・在宅介護者励会	4
子ども食堂	5
キャップハンディ体験	5
フードドライブ	6
各種お知らせ	7
賛助会員一覧	8



令和六年度
社会福祉法人巨理町社会福祉協議会
巨理町社会福祉研修会

十一月九日(土) 中央公民館にて巨理町社会福祉研修会を開催しました。
 式典では、社会福祉の向上に功績があった方々や多額の寄付をいただいた方に表彰状・感謝状がそれぞれ贈られました。

巨理町社会福祉協議会会長表彰

【表彰状】

社会福祉団体関係功労者
 巨理町社会福祉協議会

- 鈴木 達朗(吉田)
- 高野 治夫(森房)
- 菊地 清(桜小路中)
- 田辺 直正(浜吉田東)
- 古積 一彦(本郷)
- 南 條 義明(牛袋)
- ポランティアネットワーク巨理
- 武田 守雄(早川)
- 小野 良徳(柴町)

【感謝状】

- 社会福祉事業協助事業所
- 一般社団法人 アクティブサポート
- 株式会社カッソシ商事メルヘンワールド巨理店
- 株式会社 高速
- 株式会社ダイナム宮城巨理店
- 社会福祉法人はらから福祉会えいむ巨理
- 福島ヤクルト販売株式会社ヤクルト親交会
- 株式会社宮城調剤薬局 巨理店
- みやぎ巨理農業協同組合
- 民宿 浜まつ
- メガネの相沢 巨理店



研修会

講師に特定非営利活動法人ふうどばんく東北
 AGAINの副代表理事 高橋尚子氏と富樫
 花奈氏より「広げようフードバンクと助け合い
 の輪」をテーマにフードバンクの活動の紹介や
 課題、みんなができる支援など講演いただきました。

(敬称略)

第七十回

宮城県社会福祉大会

十一月十二日(火) 仙台サンプラザホールにて
 宮城県社会福祉大会が開催されました。巨理町
 からは社会福祉の発展に功績のあった方々がそれ
 ぞれの分野で受賞されました。

(敬称略)

宮城県知事表彰

ポランティア等
 社会福祉奉仕者
 富山 剛 久

社会福祉事業従事者

- 阿邊 琢也
- 太田 秀仁
- 三橋 智智
- 森 幸男
- 安田 千賀子

宮城県社会福祉協議会会長表彰

社会福祉施設職員功労者

- 池田 昭子
- 市川 達也
- 長田 明美
- 佐伯 朋美
- 高橋 智美
- 高野 智美
- 深野 葵

宮城県共同募金委員会会長表彰

【表彰状】
 奉仕功労者

- 鈴木 野孝
- 清野 秀一
- 佐藤 徳美
- 鈴木 健一
- 福本 眞一
- 古積 彦茂
- 横山 茂

【感謝状】
 奉仕功労者

- 阿部 孝光
- 戸部 幸夫
- 富田 栄房
- 成田 則房
- 米陀 義昭
- 鞠子 幸則
- 高橋 昭行
- 外道 正博
- 安住 正博
- 三品 正明
- 佐木 寛明
- 酒井 市夫
- 羽角 澄夫
- 村上 憲之
- 大村 裕仁
- 佐藤 志

巨理町共同募金委員会からのお知らせ

赤い羽根共同募金は、県域募金として巨理町を含む県内の団体などの事業に、町内配分として巨理町社会福祉協議会で行われる、高齢者や障がいのある方などを支援する事業に使われます。



4,820,735

戸別募金 (4,739,550円)

巨理地区 1,904,450円
荒浜地区 362,800円
吉田地区 817,100円
逢隈地区 1,655,200円

学校募金 (42,053円)

町内小中高等学校

職域募金 (39,132円)

巨理町役場・巨理町行政事務組合・
巨理町社会福祉協議会

募金箱

役場福祉課前、各地区交流センター窓口、
クロサキ自動車、WATALIS、
仙台銀行巨理支店窓口

2025.1.1現在

物価高騰等の影響による経済的な困窮や孤立等の地域課題を配慮し、支え合いの推進や顕在化している課題に対応する事業に配分されます。

1,884,694

戸別募金 (1,824,990円)

巨理地区 810,990円
荒浜地区 121,600円
吉田地区 306,600円
逢隈地区 585,800円

曹洞宗19教区青年会

6,000円

巨理町役場職員

31,382円

巨理町社会福祉協議会

8,603円

募金箱

13,719円

2025.1.1現在

歳末たすけあい募金 配分事業内訳



区分	配分事業
障害福祉	「安心わたり」とつながる事業
児童福祉	サンタがうちにやってくる
児童福祉	震災遺児へのお年玉
児童福祉	学業応援助成事業
高齢者福祉	ひとり暮らし高齢者「さざんかの会」新年会
高齢者福祉	寝たきり高齢者等支援事業



保護者のみなさんからお預かりした子どもたちへのプレゼントを、サンタとその仲間たちがお届けする「サンタがうちにやってくる」を、12月25日の夜に実施しました。

玄関ドアの前に「さんたさん

きてください」と手紙が貼ってあったり、「本物のサンタさん?」「サンタさんなのに車なの~?」という言葉や、もらったプレゼントを早く開けてくそわそわしている姿など、子どもたちの可愛い表情を見ることができて、私たちも楽しいクリスマスになりました。

毎年大人気のこの事業は、今年度も多くの世帯から申込があり、本会からはクリスマスケーキをお渡しし、ご家族のみなさんにも喜んでいただけたようです。 ※この事業はみなさまからお寄せいただきました「歳末たすけあい運動」の配分事業として実施しております。



生活支援コーディネーター
川端康裕の

「今 この集いの場が 熱い！」

新型コロナウイルス流行後に、新しい世話役を迎え新体制で再開した「スマイルサロン」。

新体制になっても従来のいいところはそのままに、参加者はマイカップを持参し、おしゃべりや工作など楽しい時間を過ごしています。



11月の芋煮会は材料となる野菜のほとんどを持ち寄りで賄い、参加者みんなで協力し、運営費を抑えて活動していることが、継続した活動の要因の一つにもなっているようです。

参加者からは、「こうした集まりがないと、普段の生活の中では、なかなか地域で会うこともない。」という声もあり、月に1回地域のみなさんが顔を合わせ、情報交換や交流をする機会として、無くてはならない会となっているようです。



さざんかの会 ふれあい 食事サービス

11、12月のさざんかの会は、ここ数年恒例となっている、長楽寺（丹羽篠山市）の安達瑞樹師に落語と法話を披露していただきました。

後半のシルバー川柳大会では、曹洞宗総合研究センター（東京都）の久保田永俊師にも審査員として加わっていただき、民生委員とボランティアとともに、参加者が思い思いに作った川柳から入選作品の審査をしていただきました。

参加されたみなさんは、各々の今年の出来事や思いを表した川柳に、共感の声や笑いが上がり、とても盛り上がりました。

また、昼食はバイキングとなっており、並べられた数種類の料理の中から、自身でお好みの料理を食べていただきました。



次回予定

2月19日（水）逢隈・吉田・荒浜地区
3月12日（水）巨理地区
内容：楽しく体と頭を動かそう

シルバー川柳大会

寒いけど 口だけ元気 腹太る / さざんか会 涙あり笑いありで しわ増える
この秋は 米送るから 金送れ / 物価高 年金生活 先見えず
赤緑（あお）黄 ピカソと競う 里の山 / ひょっこりと 母来る様な 小春日は
好きなんだけど 振り向いてもくれない



※この事業はみなさまからいただいた会費を財源に行われています。

令和6年度

第2回 介護家族教室・在宅介護者激励会



12月3日（水）に今年度2回目となる介護家族教室・在宅介護者激励会を開催しました。

今回は、「在宅介護の介護食について」を演題に社会福祉法人日就会 栄養士 福角志織氏と伊藤加菜氏に講演いただきました。

1週間分の献立例を元に献立の作成方法や高齢者が食べやすい調理方法など家庭でもできる食べやすくなる工夫を教えてくださいました。

その後の懇談では、いろいろな苦勞や自分が行っている工夫、体験談など情報交換が行われました。